

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2020年 3月 31日

事業所名：ピタゴラ未来塾神戸

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に必要なスペースは確保できている。	「はい」(出来ている)の評価9割 見学会や参観のようなことがないと活動中の様子がわからない。	備品の配置等にも配慮し、スペースを確保するよう努める。参観希望について、特に参観日は設けていないが、希望者には自由に見学をして頂いている。利用者には契約時にその旨説明しているが、今後さらに周知に努める。
	2 職員の適切な配置	指定基準に従った人員配置をしている。	「はい」(出来ている)の評価7割	今後もさらなる職員の資格取得・スキルアップに勤め、手厚い配置を行っていく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	構造化、情報伝達など、わかりやすく工夫している。	「はい」(出来ている)の評価8割 靴を脱いでそろえることができるようになり嬉しい。	個別支援に適したスペースを確保するため、パーテーションの設置した。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の療育後に療育スペースの清掃を欠かさず実施している。	「はい」(出来ている)の評価9割	今後も適切な生活空間を維持していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月に1度程度の頻度で実施するMTGの際に反省点、改善点の確認を行っている		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による評価は現在のところ実施していない		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	必要な内部研修を実施している 外部で実施される研修を毎月参加している		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者への面談、日々療育に携わっている職員からの聞き取りを軸に、利用者の分析を行い、支援計画を立てている	「はい」(出来ている)の評価9割	今後利用者ひとりひとりについて職員間カンファレンスの実施を検討する
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用者の特性に鑑みて、必要な個別・集団プログラムを作成、組み合わせることで適切な支援を提供できるよう計画を作成している	「はい」(出来ている)の評価9割	引き続き、ニーズ・課題に応じたプログラムの実施・計画の作成を行っていく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援項目・支援内容を記載した個別支援計画を作成している	「はい」(出来ている)の評価9割	今後も、適切な支援項目・支援内容を記載した個別支援計画を作成していく

適切な支援の提供 t (続き)

4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	それぞれの支援計画を職員間で共有し、短期長期の目標を念頭においた支援を実施している	「はい」(出来ている)の評価9割 さまざまなことを体験出来てとても満足している。	今後も、サービス提供記録に支援目標を記載するなど、常に全職員が児童の目標を意識して支援出来る様周知していく
5	チーム全体での活動プログラムの立案	前月に職員でミーティングを行い、時候に合ったプログラム、イベントを検討している。また、固定プログラムの内容についても、随時改善点などを話し合っている。		
6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇中など、午前、午後の療育を行う日と、1日プログラムを交互に実施するなど、工夫をしている。		
7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	平日にも季節行事を取り入れたり、曜日ごとのプログラムも内容を変更したり、休日はイベントをするなど、固定化しないように工夫している。	「はい」(出来ている)の評価8割 プログラムが多彩でとてもありがたい。様々なプログラムがあり、あきることなく楽しく通っている。	今後も保護者に聞き取りを行い、どのようなニーズがあるか把握するよう努め、新たな体験の機会を提供していくプログラムを創設していく。
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	療育に参加する職員は療育プログラムがスムーズに進行するよう、常にその日の内容について事前確認を行っている。		
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	療育終了後の終礼にて、必ずその日の利用者の様子について話し合い、気付いた点、療育の改善点について連絡ノートに記録する。		
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日療育後にサービス提供記録を記入する。定期的なプログラム・支援の検証を行っている。		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年ごとに個人支援計画を更新し、利用者のアクチュアルな状況に合わせて定期的に支援計画をアップデートしている。		
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	実施なし		

関係機関との連携	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	実施なし		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	実施なし		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	実施なし		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施なし	「いいえ」(わからない)の評価7割 なかなか難しいと思うが、そういう機会は大切で子供の為にも良い刺激になると思う。	具体的な予定はないが、今後様々な可能性を含めて検討していきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地元自治会の主催する行事への参加等、交流に努めているが、事業所の行事への参加は募っていない。		
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	サービス利用開始時に支援内容や利用者負担等の仕組みについて詳細な説明を行っている	「はい」(出来ている)の評価9割	引き続き適切に実施していく
2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	実施している	「はい」(出来ている)の評価9割	引き続き適切に実施していく	

保護者への説明責・連携支援

3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	フィードバック時や個別支援計画更新の為の面談時に、ご家庭での支援について助言、提案等に努めている。	「はい」(出来ている)の評価3割 保護者が児童とのかかわり方を学べると良いと思う。 機会があれば参加したい。	引き続き適切に実施していく
4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	お送りの際にその日の活動内容を説明し、またその際に家庭や学校・園での様子について伺うなど、情報を共有に努めている。	「はい」(出来ている)の評価9割 帰りの際に当日の活動状況の報告あるが見学できるとなおよい。	希望者には見学の受け入れをしており、機会があるごとにその旨お伝えしているが、今後も周知に努める。引き続き適切に実施していく。
5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からご相談のご要望がある場合には、定期的な面談の機会に限らず、個人面談等提案、実施している	「はい」(出来ている)の評価7割	引き続き、定期的な面談の機会に限らず、個人面談等提案、実施していく
6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施なし。	あれば参加したい。	今後、保護者参加型のイベントなどを検討し、父母交流の機会として、ご活用いただくよう提案していく。
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	実施している。	「はい」(出来ている)の評価6割	引き続き適切に実施していく
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	適宜、終礼などで職員に指導している	「はい」(出来ている)の評価8割	引き続き適切に実施していく
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	当月の行事予定をお知らせの形で発信している。	「はい」(出来ている)の評価6割 写真は時々送ってくれるが、もう少し送ってほしい。	ホームページの積極的な活用なども含め、今後定期的な会報等の発行も検討する。
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報に記載された書類は鍵付きの保管庫に収め、第三者の目に触れることが無いよう配慮している	「はい」(出来ている)の評価8割	引き続き適切に実施していく。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは設置しており、契約時などにお伝えしている	「はい」(出来ている)の評価7割 各マニュアルを策定されているのかもしれないが、説明を受ける機会が少ない。	今後も情勢に合わせた定期的な内容のアップデートとそれに基づく研修等の実施、保護者への周知に努め、緊急時の対応の充実を図っていく。
2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回、3月と6月に実施している。	「はい」(出来ている)の評価6割 毎月実施しても良いと思う。	引き続き、半年ごとの避難訓練を実施し、今後職員に救急研修への参加を励行する。実施したことを保護者等に周知していく。

非常時等の対応	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年1回実施している。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	なし		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食育等アレルギー物質に触れる機会があるごとに、保護者に内容の通知、児童のアレルギーの有無の確認を行っている		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの発生があれば、必ず報告書の作成、連絡ノートへの明示を行い、職員間での周知を徹底している。 また、過去の事例をファイルし、いつでも参照できる状態にしている。 さらにヒヤリハット報告書を改訂し、再発防止のチャートを職員全員に周知した。		